

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和3年度効果検証)

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)								具体的な取組				事業名	R3年度 予算額 (単位:円)	R3年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R4及びR5以降)					
	めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値			担当課	区分	担当課												
				初期値	R3	達成率				備考											
基本目標 1)若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる																					
若い世代がライフデザインを描くことを支援する	1	キャリア教育にかかるアンケート項目「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」における肯定的な回答割合(%)	82.5 %	78.2% (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:全国学力・学習状況調査のアンケート項目「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」の肯定的割合の平均 出所:文部科学省「全国学力・学習状況調査」	78.2	68.4	82.9%		学校教育課	1	乳幼児とのふれあう機会の提供	・中学生に対して、子どもを生み育てることの意義を理解し、男女共同して家庭を築く大切さを感じることができるように、認定こども園、幼稚園及び保育園を訪問するなど、幼い子どもとふれあう機会を提供します。	継続	学校教育課	学校教育推進事業	-	・コロナ禍により、職場体験は実施することができなかったため、職業講話を実施した。	・コロナ禍が収まり次第、職場体験の一貫として、幼稚園等を訪問するなどの幼い子どもとふれあう機会を提供する。	1	
			50 %	未実施	新たな取組であるため、まずは参加者のうち90%は、セミナーに対して肯定的に捉えていただくことを目標に設定。	未実施	-	-	未実施		人権室	3	ライフデザインセミナーの開催と相談等による情報提供の充実	・若い世代のうち社会人が、自分の価値観に基づいて人生の生き方の構想を描くことができるよう結婚や子育て、住まい及び仕事等、将来の人生設計(ライフデザイン)を考えるきっかけをつくることを目的に、産官学連携によるセミナー等を各関係機関との連携を図りつつ開催するとともに、全庁的取組として様々な制度等の紹介や相談を適切に行うことができる庁内各専門窓口につなぐことができるよう総務的な窓口を設定し、ライフデザインの観点から情報提供体制の充実を図ります。	新規	人権室	男女共同参画推進事業	-	・制度等の紹介や相談について、関係課や関係機関への案内 ・人生の生き方を含む相談女性のための悩み相談を開設している。	・大阪国際大学、守口市企業人権推進連絡会加盟企業と連携したライフデザインに係る講座等を開催する。 ・制度等の紹介や相談について、関係課や関係機関へ案内する。 ・守口市企業人権推進連絡会加盟企業へ働きかけ、ライフデザインについて理解の促進を図る。	3
			100 %	97.9% (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:妊娠届出時または出産までに保健師等の専門職による面談(電話も含む)を受けた人の割合 出所:子育て世代包括支援センター調べ	97.9	99.7	99.7%		子育て世代包括支援センター	1	若い世代が出会う機会創出の支援	・結婚したいと思う若い世代(社会人)が、よい人と巡り合うことができるように、趣味を同じくする人の交流機会等、若い世代が出会い、交流する機会を増やすため、関係機関が実施する婚活イベント等を支援します。 ・若い世代に対して、公民連携による出会いの場の創出を充実します。	継続		-	-	・公民連携による、婚活イベントの支援を検討したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施するまで至っていない。	行政の役割や若い世代のニーズを見極めつつ、大阪府が実施する公民連携イベントなどへの協力や、婚活イベントを企画・運営する関係機関等との連携について検討する。	4	
若い世代の結婚・妊娠・出産を支援する	2	不妊検査・治療費用助成件数	80 件	80件 (R1)	定義:守口市不妊検査・治療費用助成金交付要綱に基づき、当該助成金を申請した夫婦の件数 出所:健康推進課での交付実績	80	86	107.5%		健康推進課	2	不妊治療に関する医療に対する費用の経済的支援	・子どもが欲しいと望んでいるにも関わらず、子どもに恵まれない夫婦に対して、不妊かどうか正しく判断し、適切な治療を受けようとする機会を支援するために、不妊検査・治療に関する費用の一部を助成します。	継続	健康推進課	不妊検査・治療費用助成金	5,000,000	令和3年度より助成回数等の拡充等を盛り込んだ要綱改正を行った結果、目標値以上の申請件数があったことから、市民サービスの向上に寄与できたと思慮される。	令和4年4月1日から主要な不妊治療が保険適用となって費用負担が軽減されたことから、事業のあり方を検討していく必要がある。	5	
			80 件	80件 (R1)	定義:守口市不妊検査・治療費用助成金交付要綱に基づき、当該助成金を申請した夫婦の件数 出所:健康推進課での交付実績	80	86	107.5%		健康推進課	3	妊娠・出産についての情報提供・相談	・若い世代の妊娠・出産についての悩みや不安を軽減するために、情報提供や相談を実施します。	継続	健康推進課	母子保健事業	-	・転入妊婦を対象とする母子健康手帳別冊(妊婦健診・乳児一般受診券)の交換対応の際、保健師等により母子・乳児健診等の受診勧奨や、それに付随する相談対応を行った。	・窓口において、妊婦・乳児向けのイベントやちらしを目につく所に配架し、妊婦等へ有益な情報を届けられる環境を醸成する。	6	
			80 件	80件 (R1)	定義:守口市不妊検査・治療費用助成金交付要綱に基づき、当該助成金を申請した夫婦の件数 出所:健康推進課での交付実績	80	86	107.5%		健康推進課	4	妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援	・子どもの育ちに関するワンストップ相談窓口である子育て世代包括支援センター「あえる」において、妊娠前から子育て期までの子育て家庭の総合的な相談・支援を行います。	新規	子育て世代包括支援センター	子育て世代包括支援センター運営事業 児童虐待防止対策事業	-	母子保健事業、児童虐待防止対策事業、子育て支援事業を一元化し、保健師等の専門職による訪問などを通じて、必要な行政サービスや関係機関へとつなぎ、妊娠期から子育て期までの総合的な相談・支援を実施している。 健康推進課で実施する節目の乳幼児健診についても、情報共有を図り支援できるように取り組んでいる	子育て世代包括支援センターを児童福祉法に基づく子ども家庭総合支援拠点として位置づけ、要保護児童及び要支援児童・特定妊婦に対する訪問強化等を充実させることにより、児童虐待の未然防止を図りつつ、子ども家庭支援全般に係る業務を強化する。	7	
			80 件	80件 (R1)	定義:守口市不妊検査・治療費用助成金交付要綱に基づき、当該助成金を申請した夫婦の件数 出所:健康推進課での交付実績	80	86	107.5%		健康推進課	4	妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援	・子どもの育ちに関するワンストップ相談窓口である子育て世代包括支援センター「あえる」において、妊娠前から子育て期までの子育て家庭の総合的な相談・支援を行います。	新規	子育て世代包括支援センター	子育て世代包括支援センター運営事業 児童虐待防止対策事業	-	母子保健事業、児童虐待防止対策事業、子育て支援事業を一元化し、保健師等の専門職による訪問などを通じて、必要な行政サービスや関係機関へとつなぎ、妊娠期から子育て期までの総合的な相談・支援を実施している。 健康推進課で実施する節目の乳幼児健診についても、情報共有を図り支援できるように取り組んでいる	子育て世代包括支援センターを児童福祉法に基づく子ども家庭総合支援拠点として位置づけ、要保護児童及び要支援児童・特定妊婦に対する訪問強化等を充実させることにより、児童虐待の未然防止を図りつつ、子ども家庭支援全般に係る業務を強化する。	8	

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和3年度効果検証)

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)									具体的な取組				事業名	R3年度 予算額 (単位:円)	R3年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R4及びR5以降)	
	めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値				担当課	区分	担当課								
				初期値	R3	達成率	備考											
3 若い世代の子育てを支援する	1	80%	78.79% (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:守口市乳幼児健診(4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診)での、健やか親子21の調査において、「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある」と答えた割合 出所:→健やか親子21・厚生労働省母子保健調査～(年齢3区分を再計算)(⇒健康推進課調べ)	78.7	81.2	101.5%		子育て世代包括支援センター	1	産後ケアの取組	・出産後において、不安や体調不良のある母子に対して、母親への心身のケアや育児サポートなどが受けられる環境を引き続き提供します。	継続	子育て世代包括支援センター	産後ケア事業	2,767,000	R3年度の利用実績は宿泊型:17人、64泊。訪問型:3人、8回。妊婦届け出時の面接等で、産後のサポートが得られない可能性のある妊婦に、早い段階で情報提供を行った。	R4年度より訪問型の対象者を、出産後(流産・死産の場合を含む)11年未満の女子及び乳児に拡充。
										2	子育てをしている親子のつながりづくりを支援	・子育て世代包括支援センター、児童センター、民間認定こども園6園の市内8か所において地域子育て支援拠点施設を設置しています。各拠点施設によるイベントや講座等、特色ある取組により引き続き身近な地域において親同士、子ども同士がふれあいやあ環境を提供します。	継続	子育て世代包括支援センター	地域子育て支援拠点等事業等	49,620,000	子育て世代包括支援センター、児童センターにおいては週6日、民間認定こども園6園においては週5日、地域子育て支援拠点施設を開設し、子育て親子の交流の場を提供するとともに、特色あるイベントや講座等を実施した。(ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止による休止・中止あり)全拠点施設について、広報の特集記事として掲載して周知に努めた。また、各拠点施設の交流会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、代替策として書面での情報交換を行った。	引き続き、各拠点施設の広報等によるさらなる周知に努めるとともに、各拠点施設の交流会を開催し、情報交換等を行い連携しながら、事業の充実につなげていく。
	2	32,019件	29,315件 (R1)	定義:子ども・子育て支援交付金の実績報告で出てくる民間団体の利用者数と児童センター及び児童館での利用者数を足した数 出所:子育て世代包括支援センター調べ	29,315	9,982	31.2%	初期値(R1)との違い:児童センターの利用者数の把握が向上したため、実績値に含めた。	子育て世代包括支援センター	3	子ども医療費の助成	・子どもの健やかな育ちを実現するために、中学校卒業の年度まで通院及び入院に係る医療費の一部を助成していますが、今後更なる子育て世代への支援に向け、年齢制限の拡充を考えていきます。	新規	子育て支援政策課	子ども医療費助成事業	471,895	子育て支援の更なる充実を図るため、令和4年1月から子ども医療費助成の対象年齢を0歳から18歳に達する日以後における最初の3月31日(高校卒業)まで拡充した。	子ども医療費助成を実施するとともに、引き続き子育て支援の更なる充実にも努める。
										4	養育支援訪問事業	・養育者の養育力不足や産後うつ状態、精神疾患等により、児童の食事や衣服の清潔、生活環境が不適切な状態にある家庭に対し、従来の相談員の訪問に加え、ヘルパーを派遣する「育児家事援助型」の支援を行います。	新規	子育て世代包括支援センター	養育支援訪問事業	1,390,000	養育環境が不適切な状態にある家庭へのアウトリーチ手法による支援として、相談型と育児家事援助型を実施している。令和3年度については、相談型は9家庭、訪問回数12回、育児家事援助型は21家庭、訪問回数424回実施した。	支援対象児童の家庭や特定妊婦だけでなく、特に支援が必要と認められた児童や保護者については、本事業につなぐ、養育が適切に行われるよう相談型、育児家事援助型の支援を実施し、家庭の状況を把握しながら、早期の課題解決につなげていく。
										5	守口市に転入したくなる、もしくは転入後の良いイメージができる魅力的な情報発信	・守口市に転入したくなるようにSNSやホームページを通じて魅力ある市の情報を発信し、イメージ向上に努めるとともに、広報誌を活用し、市の施策等もしっかりと伝えることにより定住を促します。	新規	魅力創造発信課	シティプロモーション推進事業	7,040,000 (ことりっふのみ)	SNSを通して、魅力ある発信を実施。また、広報誌、ホームページを通して市の施策等を伝えることができた。 ◇PRチラシ ◇PRポスター ◇PR動画 目につけることで本市に興味・関心を促した。 ◇ことりっふ 観光ガイドのスポット内容を充実させ、効果のある配布先を選択し広く配布するとともに、SNS等での情報発信を実施。また、外国語版も作成し、本市観光資源の情報を発信した。	引き続き市に転入したくなるように各媒体で魅力ある情報発信や、行政情報を伝える。 ◇PRチラシ ◇PRポスター ◇PR動画 市民連携を活用し、民間からのデザイン提供を打診し、よりよいデザインで市外に広く掲示する。 ◇PR動画 SNSやホームページ等で放映して、動画を活用したシティプロモーションを行う。 ◇ことりっふ ことりっふの利用方法の方針・効果的な配布場所の拡充確保に取り組む。

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和3年度効果検証)

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)								具体的な取組		事業名	R3年度 予算額 (単位:円)	R3年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R4及びR5以降)						
	めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値				担当課	区分	担当課										
				初期値	R3	達成率	備考													
基本目標 2)若い世代に守口の「まちの魅力」を広く伝える																				
1 守口の「まちの魅力」を広く情報発信する	1 アンケートにおいて市民が思う守口の魅力「まちのイメージ」	13.1%	3.6% (R1)	※第6次総計と同一指標 市民アンケートにおいて、本市の 魅力として、「まちのイメージ」と 答える割合 出所:企画課調べ(総合基本計 画策定に関するアンケート調査)	3.6	-	-	アンケート実施なし	企画課	1 守口市の魅力を広く発信するシティプロモーション活動の展開	継続	魅力創造発信課	シティプロモーション推進事業	-	魅力創造発信計画を策定し、発信ツールとその目的、効果などを整理し、庁内説明会を実施。また、SNSを通して、魅力ある発信を実施。YouTube(もりぐちTV)を活用して、市のPR動画やもり吉の動画などを掲載	引き続き取り組む。	14			
										2 守口市の地域毎の様々な魅力情報を把握・発信する取組	継続	地域振興課	市民まつり開催補助金事業 商業振興事業支援補助金事業	3,000,000 2,900,000	各媒体で、地域で活躍している市民を登場させた。 ・商店街等における賑わいづくりを支援するため、商店街等が実施するイベントや商業まつり、インターネット等を活用した情報発信、産学連携など、商店街等の活性化に向けた取組に係る経費の一部を補助します。 ・ふるさと納税等地元企業の情報発信 ・地域のイベントに対する市の後援による支援(新型コロナウイルスの影響で開催件数が僅少) ・企業訪問等を通じて、企業のニーズを調査し、具体的な施策を企画	引き続き、各課との連携を取りながら団体の活動などを発信する。	15			
										3 守口市の資源を最大限に活用したまちの魅力の発信	継続	生涯学習・スポーツ振興課	①文化センター管理運営事業 ②市民体育館管理運営事業 ③旧中西家住宅管理運営事業 ④守口市立図書館管理運営事業	①50,156,000 ②33,046,000 ③7,775,000 ④270,792,000	・各施設において、生涯学習に関する事業(指定管理者の自主事業や主催事業)を実施。 ・指定管理者と協議を行い、市民のニーズに合った指定・自主事業の展開や、サークル活動を広く周知する。	引き続き、市民ニーズに沿った事業を実施していく。	17			
	2 SNSのフォロワー数	10,000人	8,603人 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:公式SNS(Facebook・ Twitter・Instagram・LINE)での フォロワー数(各年度2月1日現在) 出所:魅力創造発信課調べ(各 SNSのアカウント情報)	8,603	44,902	449.0%		魅力創造発信課	3 守口市の魅力を最大限に活用したまちの魅力の発信	継続	コミュニティ推進課	地区コミュニティセンター運営事業	287,096,000	・各コミュニティセンターで実施している指定・自主事業やサークル活動をHPで発信し、周知を行った。	指定管理者による大枝公園、大宮中央公園、下島公園、土居公園の花や生き物、防災情報、ボランティア活動紹介などを掲載した公園便りの発行。 ・公園の指定管理者を通じ、公園でのイベント情報やボランティア団体の活動状況を発信。 ・鶴見緑地と連携し、世木公園を再整備、まちの魅力発信。	指定管理者による大枝公園、大宮中央公園、下島公園、土居公園のHPの開設 ・緑・花推進協議会のHPの開設	指定管理者による大枝公園、大宮中央公園、下島公園、土居公園のHPの開設 ・緑・花推進協議会のHPの開設	指定管理者による大枝公園、大宮中央公園、下島公園、土居公園の花や生き物、防災情報、ボランティア活動紹介などを掲載した公園便りの発行。 ・公園の指定管理者を通じ、公園でのイベント情報やボランティア団体の活動状況を発信。 ・鶴見緑地と連携し、世木公園を再整備、まちの魅力発信。	18
										4 公民連携による、新たな広報媒体やSNS等を活用し、まちの魅力の更なる発信	新規	魅力創造発信課	シティプロモーション推進事業	-	公民連携による新たな広報媒体やSNS等を活用し、まちの魅力を発信できた	魅力発信計画に基づき、庁内一丸となって魅力発信を行う	20			
										5 小中学生に対する地域学習を強化し、郷土愛を育む	新規	生涯学習・スポーツ振興課	文化財保護事業	1,623,000	・市立図書館内の郷土資料展示室で古文書や郷土資料の保管・展示の実施。(通年) ・小中学生を対象とした、子ども考古学教室で勾玉作り体験を実施。 ・市立図書館内の郷土資料展示室で古文書や郷土資料の保管・展示の実施。(通年) ・小中学生を対象とした、子ども考古学教室で勾玉作り体験を実施。	引き続き、郷土資料展示室での展示や小中学生を対象とした事業を実施していく。 ・郷土愛を育むため、小学生に文化財マップを配布する。	引き続き、郷土資料展示室での展示や小中学生を対象とした事業を実施していく。 ・郷土愛を育むため、小学生に文化財マップを配布する。	22		
	6 守口に新しく住み、働き始めた人に、守口の魅力を伝える								新規	6 守口に新しく住み、働き始めた人に、守口の魅力を伝える	新規	魅力創造発信課	シティプロモーション推進事業	-	「守口魅力巡りツアー」については、新型コロナウイルスの影響もあり未実施。 ◇ことりっぶ 観光ガイドのスポット内容を充実させ、効果のある配布先を選択し広く配布するとともに、SNS等での情報発信を実施。また、外国語版も作成し、本市観光資源の情報を発信した。	◇ことりっぶ 観光ガイドのスポット内容を充実させ、効果のある配布先を選択し広く配布するとともに、SNS等での情報発信を実施。また、外国語版も作成し、本市観光資源の情報を発信した。	◇ことりっぶ 観光ガイドのスポット内容を充実させ、効果のある配布先を選択し広く配布するとともに、SNS等での情報発信を実施。また、外国語版も作成し、本市観光資源の情報を発信した。	24		
										4 公民連携による、新たな広報媒体やSNS等を活用し、まちの魅力の更なる発信	新規	地域振興課	いい夫婦フェスタ開催補助事業	-	・大型商業施設内に設置した掲示板を活用し、市内事業者及び市の情報の発信	・大型商業施設内に設置した掲示板を活用し、市内事業者及び市の情報の発信	21			
										5 小中学生に対する地域学習を強化し、郷土愛を育む	新規	学校教育課	学校教育推進事業	-	・市立図書館内の郷土資料展示室で古文書や郷土資料の保管・展示の実施。(通年) ・小中学生を対象とした、子ども考古学教室で勾玉作り体験を実施。 ・市立図書館内の郷土資料展示室で古文書や郷土資料の保管・展示の実施。(通年) ・小中学生を対象とした、子ども考古学教室で勾玉作り体験を実施。	引き続き、郷土資料展示室での展示や小中学生を対象とした事業を実施していく。 ・郷土愛を育むため、小学生に文化財マップを配布する。	引き続き、郷土資料展示室での展示や小中学生を対象とした事業を実施していく。 ・郷土愛を育むため、小学生に文化財マップを配布する。	23		

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和3年度効果検証)

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)									具体的な取組				事業名	R3年度 予算額 (単位:円)	R3年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R4及びR5以降)		
	めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値				担当課	区分	担当課									
				初期値	R3	達成率	備考												
2 若い世代が守口をふ らっと訪れる機会を提供 する	1 市民団体と協働した行政の 事業数	75 件	50 件 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:市民団体(市民、市民によ る団体、事業所の集まりなどの 団体)と協働した行政の事業数 (市民団体の事業に、補助金を 出しているだけ、後援名義を出し ていないだけの事業は除く。) 出所:コミュニティ推進課・企画 課調べ	50	25	33.3%	新型コロナウイルス 感染症の流行により 26事業が中止	コミュニティ推進 課 企画課	1	商店街等による賑わい づくりの取組への支援	継続	地域振興課	商業振興事業支援補 助金事業	2,900,000	・商業振興事業支援補助金による商店街発信のイ ベント等の補助 ・商店街存続の継続的な支援として、商店会等防 犯対応設備に関する補助金による街路灯の電気 料金やLED化の補助	・商業振興事業支援補助金による商店街発信のイ ベント等の補助の拡充 ・商店街存続の継続的な支援として、商店会等防 犯対応設備に関する補助金による街路灯の電気 料金やLED化の補助の拡充	25	
										2	魅力的なイベントの開 催	継続	地域振興課	市民まつり開催補助金 事業	3,000,000	・守口市民まつりのイルミネーション等に対する補 助金の交付による開催支援(R3年度においては、 新型コロナウイルスの影響により、守口市民まつ りは中止)	・守口市民まつりのイベントに対する補助金による 開催支援の拡充・継続	26	
	2	新たな魅力創出を目指した イベントの件数	10 件	5 件 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:市の魅力発信・シティプロ モーションに向けた新たな企画 によるイベントの開催 出所:魅力創造発信課調べ	5	6	60.0%		魅力創造発信 課	3	魅力拠点と来訪者の 滞在環境の整備	継続	生涯学習・ス ポーツ振興課	①旧中西家住宅管理 運営事業 ②文禄堤・旧徳永家住 宅保全・活用事業	①777,500 ②295,284,000	・もりぐち歴史館「旧中西家住宅」において、市の 魅力発信につながる事業の実施。 ・高礼場の設置。 ・市の貴重な歴史文化的資源として有効に活用し ていくため、旧徳永家住宅の取得。	・引き続き、市の魅力発信につながる事業を実施 していく。 ・駅前エリア価値の向上に向けた文禄堤の保全・ 活用事業として、R4年度に旧徳永家住宅資料整 理事前調査委託の実施。 以降、利活用の方針作成	27
											4	姉妹・友好都市交流事 業等により、守口市の 魅力を発信し、関係人 口を増やす	新規	地域振興課	友好都市交流事業	1,744,000	・交流事業において本市及び友好都市の特色紹 介 ・友好都市における本市のガイド配架 ・友好都市交流事業において本市のPR	・新たな交流事業の手法としての本市開催 ・友好都市における本市のガイド配架 ・友好都市交流事業において本市のPR	29

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和3年度効果検証)

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)									具体的な取組				事業名	R3年度 予算額 (単位:円)	R3年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R4及びR5以降)		
	めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値				担当課	区分	担当課									
				初期値	R3	達成率	備考												
若い世代が「住む」魅力を感じる環境を提供する	1	アンケートにおいて市民が思う守口の魅力「まちの賑わい」	15.6%	2.8% (R1)	2.8	-	-	アンケート実施なし	企画課	1	若い世代が魅力を感じる住宅との出会いを支援	-若い世代が守口で理想の住まいが見つかるよう、市が設計事務所や不動産業者等と情報連携及び意見交換を実施し、情報発信を行うことにより魅力的に感じる住宅との出会いを支援します。	継続	住宅まちづくり課	-	-	他市事例の研究	他市事例の研究	30
										2	公園やまちを美しく保つための取組	-まちの美しさはまちのイメージに影響することから、公園利用や地域住民等との連携・協力により、公園やまちを美しく保つための活動の充実や、ペットの飼い主のマナーの向上に取り組めます。 -幅広い世代が魅力的に感じ、利用したくなる憩いとスポーツの機能と防災機能をしっかりと備えた親しみのある公園を計画的に整備し、運営します。	継続	道路公園課	公衆便所清掃補助金	468,000	-町会による公園便所清掃活動。 -掲示物によるペットの飼い主のマナー向上。	-今後も、公園やまちを美しく保つための活動の充実や、ペットのマナーの向上に取り組む。 -町会による公園清掃活動の拡充。 -ペット等飼い主のマナー向上の啓発。 -市民ニーズに応じた魅力的な特色ある公園整備・再整備を進めていく。	31
	2	エリアマネジメントの推進に向けた公民連携の取組(ワークショップ・イベント等)	5回	0回 (R1)	0	1	20.0%	令和3年11月18日～23日(内5日間)において、歩道幅が予定されている「豊秀松月線」や公共空間を舞台に、豊秀松月線の活用イメージの検討や守口市駅北側エリアの活性化を目的として、魅力的な「食」「カルチャー」「クラフト」「親子で楽しめる遊び場」が出現する社会実験「守口さんほ」を実施。	都市・交通計画課	3	守口市駅前周辺の魅力づくり	-守口市駅におけるにぎわいや交流を創出するため、民間活力の活用により守口市旧本庁舎等の跡地に魅力ある空間を創出するとともに、ホール機能をはじめとする施設の誘導を念頭に、その最適な配置の考え方や、公民連携の導入を含め、将来の財政負担に十分配慮した効果的、効率的な事業化手法等について検討していきます。	継続	企画課	公共施設最適配置検討業務	7,040,000	令和4年3月に、京阪守口市駅周辺における新たなホール及び体育館の最適配置に關し、にぎわい交流施設最適配置基本構想を策定した。	令和4年度において、将来的な市の財政負担も考慮しつつ、新たなホール、体育館に備えるべき機能や規模、併設する施設や運営手法等を検討の上、具体的な施設整備に向けた整備基本計画の策定及び民間活力の活用に向け、PPP/PFI導入可能性調査を行う。	32
										4	子育て親子など地域住民が安心して暮らせる「安全なまち守口」をつくるための防犯	-子育て親子等、誰もが安心して暮らせるよう、地域と行政、警察等が連携し、地域の見守り等の人の手による防犯の取組を更に進めます。また、警察と行政が連携し、改善した守口の治安や、そのための取組を市内に広報することで、「安全なまち守口」のイメージを定着させます。	継続	危機管理室	防犯対策推進事業	47,762,000	広報、防犯特集の中に防犯委員や青パトといった地域の見守り活動を掲載し広く周知した。また、防犯動画を新たに2本追加し広報等で周知を行った。	令和5年度には防犯カメラを現在リース管理している1000台と町会等で設置していた70台の1070台から、新たに設置する30台の合計1100台リース管理し、運用していく。また、引き続き防犯に関する取り組みや広報での発信を行う。	33
	3	青少年健全育成協力数「子ども110番の家」運動協力家庭数	1,550件	1,515件 (R1)	1,515	1,439	92.8%	※第6次総計と同一指標 定義:「子ども110番の家」延べ登録家庭数 出所:コミュニティ推進課(青少年育成指導員連絡協議会調べ)	コミュニティ推進課	5	「子ども110番の家」運動の推進	-子どもたちが身の危険を感じた時に助けを求めることができるように、守口市青少年育成指導員連絡協議会と連携し、通学路の沿道の家庭・団体等の協力を得て、子どもの緊急避難場所としての役割を担う「子ども110番の家」運動を推進します。	継続	コミュニティ推進課	子ども会育成事業	45,000	-青少年育成指導員連絡協議会と連携し、子ども110番の運動の周知を行った。 -市HPで子ども110番の家の周知を行った。	-協力件数の増を目指し、引き続き守口市青少年育成指導員連絡協議会と連携しながら周知に努める。 -市HPやSNS等を活用し、広く周知に努める。	34
										6	通学路の安全確保	-児童・生徒が安心して通学できるようグリーンベルトの整備に努めるとともに、横断防止柵等の交通安全施設の整備を図り、安全確保に取り組めます。	新規	道路公園課	通学路安全対策工事	5,000,000	教育部局より依頼のあった通学路におけるグリーンベルトの設置を行った。	引き続き、通学路において設置可能な路線については、グリーンベルトの設置	35
	3	青少年健全育成協力数「子ども110番の家」運動協力家庭数	1,550件	1,515件 (R1)	1,515	1,439	92.8%	※第6次総計と同一指標 定義:「子ども110番の家」延べ登録家庭数 出所:コミュニティ推進課(青少年育成指導員連絡協議会調べ)	コミュニティ推進課	7	若い世代の参画によるエリアマネジメントの推進	-まちづくりの方向性を若い世代とも共有しながら、中心市街地等におけるエリアの価値を向上させ、まちのにぎわいや新しい都市イメージの創出につなげるよう、守口市旧本庁舎等の跡地の民間による開発・整備をはじめ、エリアマネジメント組織と連携したまちづくりに資する取組(ブランディング、魅力あるコンテンツの誘導、既存施設・空き家等のリノベーション・イベント等)に、特に若い世代も積極的に関わることができるよう工夫しながら取り組めます。	新規	都市・交通計画課	街づくり推進事業	14,200,000	R3年度に実施した「(仮称)守口市駅北側エリアリノベーション戦略策定支援業務委託」において、戦略の検討にあたり「将来のエリアのありたい姿」の仮説等を具現化し、その検証結果を戦略に反映するための社会実験を実施した。 -桜町団地1階の広場部分では、子どもの遊び場や親子で楽しめるワークショップといった「おとなと子どもの広場」を開催。子育て世代をはじめとした積極的な広報周知や、先進的な情報発信冊子の作成を行う。	昨年度に引き続き、(仮称)守口市北側エリアリノベーション戦略策定支援業務委託を実施。 令和3年度に策定した戦略(素案)の成案化の過程において、当該エリアの将来的なメディア計画を見据え、若い世代にも親しみやすいSNSを利用した積極的な広報周知や、先進的な情報発信冊子の作成を行う。	36
										8	若い世代の住宅購入を後押しし、定住人口を増やすための取組	-若い世代の住まいの確保を支援し、ますますの定住促進と人口増加を図るため、市内で住宅を新築または購入された世帯(条件あり)の経済的負担の軽減等について検討を深めます。	新規	住宅まちづくり課	-	-	他市事例の研究	他市事例の研究	37

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和3年度効果検証)

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)									具体的な取組		事業名	R3年度 予算額 (単位:円)	R3年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R4及びR5以降)		
	めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値			担当課	区分	担当課								
				初期値	R3	達成率				備考							
基本目標 3)子育てファミリー世帯の守口定住を促す																	
0歳からの充実した教育・保育サービスで安心の子育て・健やかな子育てを支援する	1	4月1日時点の厚生労働省定義の特機児童数	0人	※第6次総計と同一指標 定義:4月1日時点の保育所等利用特機児童数調査の特機児童数 出所:こども施設課調べ	0	0	100.0%		こども施設課	1	幼児教育・保育の無償化への取組	継続	こども施設課	・認定こども園等運営助成事業 ①施設型給付(認定こども園) ②地域型保育給付(小規模保育事業等) ③委託費(他市施設) ④認定こども園等給食費補助金 ・私立幼稚園関係助成事業 ⑤私立幼稚園等給食費補助金	①4,385,198,000 ②1,216,130,000 ③221,181,000 ④113,562,000 ⑤9,612,000	・平成29年度から本市が独自に実施している0歳からの幼児教育・保育の無償化については、引き続き、国の無償化対象外である0～2歳児までの課税世帯を含む完全無償化を継続して実施した。 ・令和2年4月から本市が独自に実施している認定こども園、保育所、幼稚園等を利用する3～5歳児の給食費のうち副食費相当額の無償化について、継続して実施した。	・平成29年度から本市が独自に実施している0歳からの幼児教育・保育の無償化について、国の無償化対象外である0～2歳児までの課税世帯を含む完全無償化を継続して実施する。 ・令和2年4月から本市が独自に実施している認定こども園、保育所、幼稚園等を利用する3～5歳児の給食費のうち副食費相当額の無償化について、継続して実施する。
										2	子育てと仕事の両立に向けた環境整備	継続	子育て支援政策課 こども施設課	①保育所入所措置等事業 ②もりぐち児童クラブ運営事業	①4,363,000 ②405,956	・幼児教育・保育の実施については、就学前児童に対し必要な幼児教育・保育が提供されるよう保護者の施設利用への希望に寄り添うきめ細やかな支援を行うとともに、保育の受け皿の確保にも努めたことで、平成31年度、令和2年度に引き続き、令和3年度も待機児童ゼロを達成。 ・放課後児童健全育成事業については、もりぐち児童クラブ「入会児童室」を実施。	・待機児童ゼロを基本に、保護者の施設利用の希望をかなえるべく、きめ細やかな利用調整・相談支援に取り組む。 ・医療的ケア児が利用する認定こども園等において、医療的ケアに従事する看護師を配置するとともに、看護師を補助し、医療的ケア児の保育を担当する保育士等を配置する(民間施設については、看護師等の配置に係る費用の補助を実施)。 ・就学前児童数の推計、市全体の保育の受け皿確保状況、市内施設の入受状況、公立の認定こども園の役割等について、分析・課題整理を行い、公立認定こども園の規模(園数)の適正化について検討を行う。(※令和4年度の子ども・子育て支援事業計画の中間見直しにおいて、方針を明記) ・民間認定こども園4園が実施する園舎の老朽化対策及び保育ニーズの高い年齢児の入受率向上の拡大を図るための施設整備にかかる費用の一部を補助する。 ・放課後児童健全育成事業の利用者の増加に対応するため、教育委員会との連携を強化し、さらなる受皿確保に努める。
										3	ファミリー・サポート事業	継続	子育て世代包括支援センター	ファミリー・サポート事業	6,254,000	協力会員養成講座を1回開催(年2回開催予定のうち1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)。協力会員のスキルアップ講習会を実施。会員数拡大に向け、養成講座や入会説明会の実施にあたっては、広報、HP、チラシ等での周知を行っている。	引き続き協力会員養成講座や、協力会員のスキルアップを支援するための講習会を開催し、会員の拡大、制度の充実に取り組む。
										4	病児・病後児保育の実施	継続	こども施設課	子ども・子育て支援交付金 病児保育事業	27,538,000	・病児・病後児の保育の確保を図るため、病児・病後児保育を実施する施設の更なる設置等の充実を図ります。	・病児(病後児)保育事業への保護者のニーズ増加に対応するため、私立施設等へ積極的に働きかけていく。 ・現在の実施施設が南部エリアに集中していることを踏まえ、市全体のバランスを勘案しながら施設の増設に努めていく。
暮らしと仕事とのバランスが取りやすい環境を提供する	1	公民連携等も含めたテレワークオフィスの整備件数	5件	1件(R2) 定義:4月1日時点のテレワークオフィス数 出典:地域振興課調べ	1	2	40.0%		地域振興課	1	ワーク・ライフ・バランスのとれた職場づくりに向けた相談や情報提供	継続	地域振興課	働き方改革推進事業	3,422,000	・テレワーク推進セミナー、広報、ホームページ等で市民のみならず市内事業者に対する周知 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染症対策を行った上での更なる周知 ・改正育児・介護休業法についてのホームページ上での周知 ・ワーク・ライフ・バランスのとれた職場づくりに積極的に取り組んでいる市内立地企業を把握し、職場の魅力を広く情報発信します。	・広報、ホームページ等における周知の継続
										2	男性の家事・育児への参画	継続	人権室 子育て世代包括支援センター	男女共同参画推進事業 子育て世代包括支援センター運営事業	-	・子育て世代への講座の開催 ・近隣市等開催講座の情報提供	・市広報誌に父親を対象にした育児についての記事を掲載 ・子育て世代への講座の開催 ・近隣市等開催講座の情報提供
	2	ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供回数	15件	3件(R2) 定義:年度末時点での実施回数 出所:地域振興課調べ	3	2	13.3%		地域振興課	2	新しい生活様式の実践に向けた働きやすい環境の整備	新規	地域振興課	働き方改革推進事業	3,422,000	・テレワーク推進セミナー、広報、ホームページ等で市民のみならず市内事業者に対する周知	・広報、ホームページ等における周知の継続
										3	ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供回数	継続	地域振興課	働き方改革推進事業	3,422,000	・テレワーク推進セミナー、広報、ホームページ等で市民のみならず市内事業者に対する周知	・広報、ホームページ等における周知の継続

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和3年度効果検証)

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)									具体的な取組			事業名	R3年度 予算額 (単位:円)	R3年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R4及びR5以降)		
	めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値				担当課	区分	担当課								
				初期値	R3	達成率	備考											
3 子どもとお出かけがしやすい環境を提供する	1 公園の整備・再整備数	9 か所	1 か所 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:新設公園数、再整備公園 出所:公園課課長	1	3	33.3%		道路公園課	1 公園をより魅力的な場とする運営	公園をより魅力的な場とするために、様々な運動や遊びを教えるスタッフによりスポーツを楽しんだり、親子がのびのびと外で体を動かすことができる機会を提供します。	継続	道路公園課	指定管理者の事業において、プロチーム等の直接指導により、多様なローテーション形式で体験する教室、親子で参加できる野球体験教室の開催。	-	指定管理者により管理する公園の拡大	よつば未来公園の指定管理者制度導入	46
										2 身近な自然に親しめる機会の充実	淀川や花博記念公園鶴見緑地等の身近で自然に親しめる場所・スポットの情報をわかりやすく発信します。また、親子が身近な自然に親しめるような機会を提供します。 ・地域住民や開発者等の協力を得て、まちなかにおける小さな緑を増やします。	継続	道路公園課	緑・花グループによる緑・花推進活動。	-	緑・花推進協議会の設立	今後も、身近な自然に親しめる機会の充実のため、情報提供等に努めます。	47
										3 子育て親子が外出しやすい環境づくり	子育て中の親子が外出しやすい環境づくりを進めていくために、授乳やおむつ交換ができる場所を無償提供する「赤ちゃんの駅」の設置を促進します。また、市内でのイベント開催に当たり移動式「赤ちゃんの駅」の貸出しを実施します。	継続	子育て世代包括支援センター	赤ちゃんの駅設置事業	-	市内でのイベント開催に当たり移動式「赤ちゃんの駅」の貸出しを2件行った。常設の赤ちゃんの駅は市内36施設。	新規開発商業施設等へ「赤ちゃんの駅」設置を働きかけるとともに、市内でのイベント開催に当たり移動式「赤ちゃんの駅」の貸出しを実施する。	48
	2 公園ボランティアグループ数	66 団体	61 件 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:公共施設等への花苗の植え付けや水やり等の活動を行っている緑・花グループと公園の草刈りやトイレ清掃等を行っているボランティアグループを合算した団体数 出所:守口市公園課課長	61	63	95.5%		道路公園課	4 公園の計画的な整備・改修	市有地の有効活用や老朽化した公園を再編・集約するなどして、防災機能に加え、より魅力的なものとするために、公園周辺の地域性や公園利用者のニーズを踏まえて、子どもたちがのびのびとスポーツができる工夫や、芝生の整備や自然を感じられる工夫等により子育て世帯等が憩える場所となるように、計画的な公園の整備・改修を実施します。	新規	道路公園課	土居公園再整備事業 大日公園再整備事業 旧さつき小学校跡地公園整備事業	325,033,000	土居公園再整備工事、たきい公園整備工事、大日公園再整備工事	よつば未来公園、菊水公園、世木公園等のリニューアル	49
										5 子どもが遊べる機会の提供	ハード面では、公園の再整備において特色ある公園整備を行い、またソフト面では、公園のみならず、コミュニティセンター等において、小中学生を対象とした魅力的な教室やイベントを開催し、その情報を積極的に発信します。	新規	生涯学習・スポーツ振興課	守口市立図書館管理事業	270,792,000	守口市立図書館に隣接する大日公園において、おはなし会の実施。 ・大日公園再整備に伴っての図書館敷地内の整備。	再整備された大日公園において、子どもの読書推進に係る事業や市民が「集い・学び・交流する」ことを目的とした様々な事業を実施していく。	51
										6 安全で快適な歩行空間の整備	景観や防災面に配慮した、災害に強いゆとりある都市環境を創出するため、都市計画道路豊秀松月線整備事業において広幅員歩道を整備します。 ・安全で快適に通行できるよう、歩道の設置やカラー舗装等の高画質舗装により、各道路の特性に見合った歩行空間の確保に努めます。	新規	道路公園課	都市計画道路豊秀松月線整備事業	40,000,000	無電柱化をするための電線共同溝整備工事を実施	電線共同溝整備工事を順次施工	53
										7 安全で適切な自転車利用の推進	歩行者と自転車の通行位置を分離し、自転車通行空間を確保します。また、自転車利用者のマナーを向上するため、警察と連携し、交通安全教室に参画するなどの取組を行うとともに、市としても安全で適切な自転車利用に関する情報を提供します。	新規	道路公園課	自転車通行空間整備工事	10,000,000	車道に自転車通行空間を設置	引き続き、計画に基づき矢羽根を設置	54
3 登下校時の交通事故発生件数	0 件	0 件 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:市内小中学生の登下校時における交通事故発生件数 出所:学校教育課課長(児童生徒の問題行動・被害、長期欠席の児童生徒に関する月別調査)	0	0	100.0%		保健給食課	6 安全で快適な歩行空間の整備	景観や防災面に配慮した、災害に強いゆとりある都市環境を創出するため、都市計画道路豊秀松月線整備事業において広幅員歩道を整備します。 ・安全で快適に通行できるよう、歩道の設置やカラー舗装等の高画質舗装により、各道路の特性に見合った歩行空間の確保に努めます。	新規	道路公園課	都市計画道路豊秀松月線整備事業	40,000,000	無電柱化をするための電線共同溝整備工事を実施	電線共同溝整備工事を順次施工	53	
									7 安全で適切な自転車利用の推進	歩行者と自転車の通行位置を分離し、自転車通行空間を確保します。また、自転車利用者のマナーを向上するため、警察と連携し、交通安全教室に参画するなどの取組を行うとともに、市としても安全で適切な自転車利用に関する情報を提供します。	新規	道路公園課	自転車通行空間整備工事	10,000,000	車道に自転車通行空間を設置	引き続き、計画に基づき矢羽根を設置	54	
2 公園ボランティアグループ数	66 団体	61 件 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:公共施設等への花苗の植え付けや水やり等の活動を行っている緑・花グループと公園の草刈りやトイレ清掃等を行っているボランティアグループを合算した団体数 出所:守口市公園課課長	61	63	95.5%		道路公園課	5 子どもが遊べる機会の提供	ハード面では、公園の再整備において特色ある公園整備を行い、またソフト面では、公園のみならず、コミュニティセンター等において、小中学生を対象とした魅力的な教室やイベントを開催し、その情報を積極的に発信します。	新規	生涯学習・スポーツ振興課	守口市立図書館管理事業	270,792,000	守口市立図書館に隣接する大日公園において、おはなし会の実施。 ・大日公園再整備に伴っての図書館敷地内の整備。	再整備された大日公園において、子どもの読書推進に係る事業や市民が「集い・学び・交流する」ことを目的とした様々な事業を実施していく。	51	
2 公園ボランティアグループ数	66 団体	61 件 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:公共施設等への花苗の植え付けや水やり等の活動を行っている緑・花グループと公園の草刈りやトイレ清掃等を行っているボランティアグループを合算した団体数 出所:守口市公園課課長	61	63	95.5%		道路公園課	6 安全で快適な歩行空間の整備	景観や防災面に配慮した、災害に強いゆとりある都市環境を創出するため、都市計画道路豊秀松月線整備事業において広幅員歩道を整備します。 ・安全で快適に通行できるよう、歩道の設置やカラー舗装等の高画質舗装により、各道路の特性に見合った歩行空間の確保に努めます。	新規	道路公園課	都市計画道路豊秀松月線整備事業	40,000,000	無電柱化をするための電線共同溝整備工事を実施	電線共同溝整備工事を順次施工	53	
2 公園ボランティアグループ数	66 団体	61 件 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:公共施設等への花苗の植え付けや水やり等の活動を行っている緑・花グループと公園の草刈りやトイレ清掃等を行っているボランティアグループを合算した団体数 出所:守口市公園課課長	61	63	95.5%		道路公園課	7 安全で適切な自転車利用の推進	歩行者と自転車の通行位置を分離し、自転車通行空間を確保します。また、自転車利用者のマナーを向上するため、警察と連携し、交通安全教室に参画するなどの取組を行うとともに、市としても安全で適切な自転車利用に関する情報を提供します。	新規	道路公園課	自転車通行空間整備工事	10,000,000	車道に自転車通行空間を設置	引き続き、計画に基づき矢羽根を設置	54	

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和3年度効果検証)

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)								具体的な取組		事業名	R3年度 予算額 (単位:円)	R3年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R4及びR5以降)	
	めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値			担当課	区分	担当課						
				初期値	R3	達成率				備考					
基本目標 4)良いイメージをもって守口を誇りに思う子どもを増やし、育てる															
1	全国学力調査の質問紙調査における学習状況に係る肯定的回答率	80%	【小学校】 67%	※第6次総計と同一指標 定義:学習状況に係る3項目(①授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる ②自分の考えがうまく伝わるよう、話の組立てなどを工夫して発表している ③話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる)の肯定的割合の平均 出所:文部科学省「全国学力・学習状況調査」	67	69.6	87.0%	学校教育課	1	学力向上に向けた取組	継続	土曜日学習事業	26,119,000	・各学校にて学力向上にかかる取組をコーディネートする「学力向上推進教員」を改めて位置づけ、学校が策定した課題解決へ向けた具体的なプラン(学力向上推進プラン)に基づいた取組内容の実施や、校内研修及び学力向上会議等の計画実施、さらには、他の教員と協働して教材研究や授業を行い、すべての児童生徒にとって「わかる」「できる」授業づくりの提案・発信を行っていく取組を円滑かつ効果的に実施するために、各学校に1名(義務教育学校は2名)の市費教員を配置し、本ため「家庭学習リーフレット」や「家庭学習冊子」を電子データで提供し、長期休業期間に活用できるよう促した。 ・中学校において、少人数指導や放課後補充学習などきめ細かな指導を行うため、市の独自の取組として、職員1名を配置(加配)した。 ・中学校において、少人数指導や放課後補充学習などきめ細かな指導を行うため、市独自の取組として、職員1名を配置(加配)する。 ・子どもたちの9年間の学びを支えるために、各中学校区単位で、教職員による相互参観、合同授業研究会などを計画し、小中一貫教育を推進した。	55
												中学校等放課後学習支援事業	25,201,000		
												読書活動推進支援事業	8,400,000		
											教育センター	教育研究・研修事業	1,640,000	・全校ヒアリングを実施し、組織的・計画的な研修会を実施できるよう、各校へ予算を配当した。 ・年度末には取組みの成果・課題等を把握し、次年度へつなげるためのヒアリングを実施した。 ・「学力向上プラン」の実現に向け、学習指導要領に示される資質・能力の育成や授業のユニバーサル活用や組織的な学校づくり等テーマとした教職員研修を実施した。	56
											教育センター	学校教育情報化コーディネーター配置事業	22,665,648	・授業支援ソフトの活用により、授業改善を進めた。 ・学習用端末とともに導入したデジタルドリルの活用実践の周知を図った。 ・GIGAスクールサポーターが巡回訪問を行い、ICT機器設定等の環境整備や授業研究支援を行った。 ・ICT支援員が巡回訪問や遠隔操作により、各校のICT環境整備や授業研究の支援を行った。 ・各学校へWebカメラを4台配備したり、すべての教室で活用できるオンラインアカウントの配付を行うなどオンライン授業を行うための環境整備を行った。 ・市内一斉の家庭からのオンライン接続テストを行い、ネットワーク環境の検証を行った。 ・通信環境のない家庭に対して、モバイルルータ及びSIMカードの貸出しを行った。 ・クラウド上にすべての教職員を対象とした情報提供の場である「守口市カレッジBOX」を開設し、さまざまな情報を提供を行った。	57
											学校教育課	学校教育推進事業	-	・活用問題データのサーバへの蓄積、活用推進。 ・ICT活用に係る授業研修の実施。	58
											生涯学習・スポーツ振興課	子ども読書活動推進事業	263,000	・市立図書館において、絵本の読み聞かせボランティアによるおはなし会の実施。 ・イオンモール大日と連携した絵本の広場の実施。 ・「子ども読書の日」を記念した講演会の実施。	59
											学校教育課	読書活動推進支援事業	8,400,000	・読書習慣の定着及び読書に親しむ環境整備を目指して、中学校区等に原則1名の学校司書を配置し教員と学校司書が連携しながら、「読書週間」の設定や図書館の環境整備及び毎日開館等、各校における児童生徒の読書習慣の定着に向けた取組を行った。 ・各教科等での図書館の利活用が図られるよう、学校図書館教育全体計画を全校で作成するとともに、各教科等における年間利活用計画の策定に向け、研究校における実践事例の発信を行った。	60
1	変化に対応できる確かな学力と他者を思いやる豊かな心を育む学校教育を提供する	80%	【中学校】 67%		67	74	92.6%	学校教育課	3	読書に親しむ環境づくり	新規			・各校で策定している学校図書館教育全体計画、年間計画、各教科等での年間利活用計画に基づき、取組みを進め、PDCAサイクルで各計画を更新していく。 ・学校図書館の三機能を十分発揮できるように、学校司書の配置の充実を図っていく。 ・学校間や市立図書館などの蔵書を効率的に活用できるシステムの導入に向け、関係者と連携を図る。	

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和3年度効果検証)

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)									具体的な取組		事業名	R3年度 予算額 (単位:円)	R3年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R4及びR5以降)				
	めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値			担当課	区分	担当課										
				初期値	R3	達成率				備考									
子どもたちが熱中できる ことに会おう機会を提供 する	2	「タブレットPCを活用し、問題 解決等することがとてできる 」と回答した児童・生徒の 割合	80%	56% (H30)	※第6次総計と同一指標 定義:「タブレットPCを活用し、問 題解決等することがとてできる 」と回答したアンケート結果の 割合 出所:教育センター調べ(各学校 の児童生徒に対するアンケート 調査)	56	34	42.5%	初期値については、 平成30年度タブレット 推進リーダーに指 定された教員が校 業内で行ったアン ケート結果を参考値 としている。令和3年 度はGIGAスクール 構想によりアンケ ート対象がすべての児 童生徒に拡張された 数字。	教育センター	4	子どもを守るネットワ ークの確立	新規	学校教育課	学校教育推進事業	-	・守口市いじめ問題対策連絡協議会を年2回(コ ナ禍による書面開催含む)開催。 ・各校で策定している防災マニュアルから発達段 階に応じた防災教育の実施及び家庭・地域・関係 諸機関と連携した避難訓練の実施を計画したが、 コロナ禍のため、一部の学校での実施となった。 ・小学校等5、6年生への非行防止教室の開催(オ ンライン)。 ・小学校等及び中学校等への交通安全教室の開 催(オンライン)。 ・小学校等及び中学校等への薬物乱用防止教室 の開催(オンライン含む)。	・守口市いじめ問題対策連絡協議会を年2回開 催。 ・各校で策定している防災マニュアルから発達段 階に応じた防災教育の実施及び家庭・地域・関係 諸機関と連携した避難訓練の実施。 ・小学校等5、6年生及び中学校1年生への非行 防止教室の開催。 ・小学校等及び中学校等への交通安全教室の開 催。 ・小学校等及び中学校等への薬物乱用防止教室 の開催。	61
											5	食育の充実	新規	地域振興課	守口市農業研究会 補助事業	70,000	・市内農家や農業関連団体の開催する野菜朝市 や地場産野菜を利用した学校給食活用事業など の支援	・引き続き、地場産の野菜を利用した学校給食活 用事業の支援 ・市内農家や関連団体の協力のもと、市内農地を 活用した市民向け農業体験への取組み	63
											6	学校・家庭・地域が一 体となった学校運営協 議会制度(コミュニ ティ・スクール)の推進	新規	学校教育課	学校教育推進事業	-	・中学校区等ごとに年間3~4回の学校運営協議 会を実施した。 ・学校運営協議会委員研修を7月にオンラインを 併用して実施した。 ・各校区の実情に応じた学校支援活動の推進(九 九、読書ボランティア等)。 ・中学校区等ごとに広報誌の発刊。	・中学校区等ごとに年間5回の協議会の開催。 ・学校運営協議会委員研修を年1回開催。 ・各校区の実情に応じた学校支援活動の推進。 ・中学校区等ごとに発刊する広報誌の充実等、取 組みの情報提供の促進。	64
											1	青少年の活動への支 援	継続	コミュニティ推進 課	①青少年育成指導事 業 ②青少年団体活動助 成事業	①2,090,000 ②750,000	①守口市青少年育成指導員連絡協議会に青少年 活動のための補助金を交付し、各校区で活動を 行った。 ②スポーツ少年団等の青少年の育成を担う団体 へホームページ等で青少年関係団体補助金の周 知を行い、新規団体へ補助金を交付した。	①守口市青少年育成指導員連絡協議会主催の行 事等について、新型コロナウイルス感染拡大防 止策を講じた上での実施方法を検討する。 ②ホームページ等で青少年関係団体補助金の周 知を行い、新規団体へ補助金を交付した。	65
											2	産官学連携による、子 どもたちが熱中できる 機会の提供	新規	地域振興課	市民まつり開催補助金 事業 友好都市交流事業	3,000,000 1,744,000	・守口市市民まつりに対する補助金の交付による 開催支援(R3年度においては、新型コロナウイルス の影響により、守口市市民まつりは中止) ・友好都市交流事業における自然体験の実施	・守口市市民まつりのイベントに対する補助金による 開催支援の拡充・継続 ・友好都市交流事業における自然体験の継続 ・交流事業の本市開催によるものづくり体験等の 実施	66
											3	子どもたちが熱中できる ことと出会えるように、民間企業や 大学等と連携し、体験交流イベント開催等を支援します。	新規	企画課	-	-	・公民連携事業により、公立認定こども園におい て、ダンス教室を実施	・子どもたちが熱中できるイベント等の開催にあ たり、公民連携の観点から効果的な取組について 、コミュニティ推進課と情報共有を図りつつ、当 該取組の充実を図る。	67
2	学校支援ボランティアの人 数	2,000人	1,612人 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:授業以外の学習支援や部 活動指導・環境整備など、学校 支援地域本部等に係るボラン ティアの延べ人数 出所:学校教育課調べ(学校へ の調査)	1,612	1,160	58.0%	・小中学生を対象とした魅力的な教室やイベントを開 催し、その情報を発信します。 ・守口市子どもまつりの開催をはじめ、子どもと地域の大人が つながりを深めることができる機会を提供します。	新規	生涯学習・ス ポーツ振興課	①文化センター管理運 営事業 ②市民体育館管理運 営事業 ③旧中西家住宅管理 運営事業 ④守口市立図書館管 理事業	①50,156,000 ②33,046,000 ③7,775,000 ④270,792,000	各施設において、生涯学習に関する事業(指定管 理者の自主事業や市主催事業)を実施。	・引き続き、市民ニーズに沿った事業を実施してい く。	69				
70	子ども会育成事業	2,070,000	-	-	-	-	-	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、こども まつりやこども会親善スポーツ大会等の行事は全 て中止となった。	新規	コミュニティ推進 課	子ども会育成事業	2,070,000	・新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた上 での実施方法を検討する。	・新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた上 での実施方法を検討する。	70				

■「第2期 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける取組一覧(令和3年度効果検証)

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)								具体的な取組				事業名	R3年度 予算額 (単位:円)	R3年度の取組状況	今後の取組方針・課題 (R4及びR5以降)				
	めざす値(R7)	初期値 (年度)	指標の 定義・出所	実績値				担当課	区分	担当課										
				初期値	R3	達成率	備考													
子どもたちが社会の秩序を守り、社会や世界に貢献する意識を育む	1	防災ジュニアリーダー育成のために消防団等が子どもを対象とした防災教育の実施回数	1回	未実施 (R2)	定義:年度末時点における実施回数 出所:危機管理室調べ	0	-	-	危機管理室	1	防災ジュニアリーダーの育成	・消防団等による防災ジュニアリーダーを育成し、子どもたちに防災に対する理解を深め、自らの命を自らで守る術を体得させます。また、ボランティア等を通じ、社会に貢献する意識を育みます。	新規	危機管理室	防災対策事業	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消防団による子供たちへの防災教育は実施できなかった	消防団による防災教育が実施できるよう市として支援する。	71	
	2	地域・社会貢献に関するアンケート項目「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあるか」における肯定的な回答割合	66.9%	63.8% (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:全国学力・学習状況調査のアンケート項目「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあるか」の肯定的割合の平均 出所:文部科学省「全国学力・学習状況調査」	63.8	68	101.9%	学校教育課	2	防災ハザードマップ等を活用した系統的な防災教育の推進	地震や自然災害等の予期せぬ状況下においても、子どもたちが適切な行動をとり、自らの命を守りつつ、地域の方々と助け合える力を身につけるため、市防災ハザードマップやデジタル教材を活用し、発達段階に応じた防災教育に取り組んでいきます。	新規	学校教育課	学校教育推進事業	-	・市防災ハザードマップやデジタル教材を活用による防災教育の実施。 ・家庭・地域・関係諸機関と連携した避難訓練の実施を計画したが、コロナ禍のため、一部の学校での実施となった。	・市防災ハザードマップやデジタル教材の活用による防災教育の実施。 ・学校・家庭・地域・関係諸機関と連携した避難訓練の実施。	72	
	3	SDGsの理解を深め、地域課題の解決等に取り組む								学校教育課	3	SDGsの理解を深め、地域課題の解決等に取り組む	・SDGsの理解を深めるため、小学校等からSDGsについて学ぶ機会を提供します。 ・地域課題の解決に主体的に取り組む児童生徒を育成するため、SDGsにおいて示されている国際理解、情報、環境、福祉、健康等の現代的な諸課題を探究課題として設定した教育活動に取り組んでいます。	新規	学校教育課	人材育成事業	500,000	・総合的な学習の時間等で国際理解教育や情報教育、環境教育、福祉・健康教育に取り組んでいる。 ・総合的な学習の時間等でSDGsについて学び、現代的な諸課題を探究課題として設定した教育活動に取り組んでいます。 ・人材育成基金を活用し、SDGsに関する出前授業を小学校等へ実施。	・人材育成基金を活用し、SDGsに関する出前授業を小学校等へ実施していく。 ・総合的な学習の時間等で国際理解教育や情報教育、環境教育、福祉・健康教育に引き続き取り組んでいく。 ・総合的な学習の時間等でSDGsについて学び、現代的な諸課題を探究課題として設定した教育活動に取り組んでいく。 ・継続して、守口ロータリークラブ主催による守口子ども議会において、中学校等の代表者が地域課題について意見や提案を発表する場を設定していく。	73
子どもから若い世代までが集い、仲間づくりがしやすい環境を提供する	1	各コミュニティセンターの年間平均利用率	33%	29.7% (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:各コミュニティセンターの平均利用率(会議室・体育室等のすべて) 出所:コミュニティ推進課(各指定管理者調べ)	29.7	33.7	102.1%	コミュニティ推進課	1	コミュニティセンター等における市民活動の支援	・コミュニティセンター等に登録されているサークル等の活動を積極的に情報発信し、若い世代が仲間づくりを行える環境を提供します。 ・青少年育成指導員連絡協議会と連携し、子どもたちが様々な活動を通じて一緒に楽しむ仲間をつくる機会を提供します。 ・市民活動の活性化に資する様々な事業を展開・実施します。	新規	コミュニティ推進課	地区コミュニティセンター運営事業	287,096,000	・各コミュニティセンターで活動しているサークルについてHPやセンター掲示板等に掲載し、また、サークル発表会を開催し、サークル活動の周知、発信を行った。 ・各コミュニティセンターでコミュニティの醸成・活性化に繋がる様々な指定・自主事業を開催した。	・今後もサークル活動の情報発信を行う。 ・引き続き各コミュニティセンターで様々な指定・自主事業を展開・実施する。	74	
	2	各コミュニティセンターが主催するイベント数	150回	100回 (R1)	定義:各コミュニティセンターでのイベント開催数 出所:コミュニティ推進課調べ(各指定管理者からの事業報告書より)	100	115	76.7%	コミュニティ推進課	2	若い世代の様々な活動の成果を披露する機会の提供	・市民まつり等のイベントで、若い世代が取り組んだことについて成果を発表できる機会を提供し、魅力的な情報発信や交流を行えるように協力します。	新規	地域振興課	市民まつり開催補助金事業	3,000,000	・守口市民まつりに対する補助金の交付による開催支援	・守口市民まつりのイベントに対する補助金による開催支援の拡充・継続	75	
若い世代がより良い守口づくりに関わられる機会を提供する	1	産官学連携等の子どもたちや若い世代が守口の魅力を再発見を行い、成果を発表できるようなイベントの開催	5件	1件 (R1)	新たな取組であるため、まずは、延べ5件のイベント開催を目標として設定。	1	2	40.0%	魅力発見チラシ ことりっふ	企画課	1	若い世代が「守口市の未来を語りあう」場づくりと活動実践の支援	・若い世代が未来に希望を抱ける魅力ある守口市にするため、若い世代が守口市の未来を語りあう機会・場を提供するとともに、守口市公募型協働事業提案制度等を活用して、若い世代による地域活性化の企画・取組を支援します。	継続	魅力創造発信課	シティプロモーション推進事業	-	次代を担う子ども達が市政の概要を理解し、市政に対する意見を発表する機会として市立中学校の生徒による「こども議会」を開催していたが、新型コロナウイルスの関係もあり未実施。	新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、実施を検討	76
											2	市民が守口市に愛着・誇りを感じる機会づくり	・市民が守口市の魅力を再発見できるように、東海道五十七次等の歴史・文化にふれられるようまちなちあるきや、フォトコンテスト等の機会を充実します。 ・住民交流を深め、公園への愛着を高めるために、地域団体が公園やコミュニティセンター等を利用して行う住民交流等のイベントの開催を支援します。	継続	魅力創造発信課	シティプロモーション推進事業	-	1.フォトコンテスト 2.お困りごと相談会 3.市政75周年記念特別展示 守口市のあゆみ 4.ふるさと納税返礼品新規事業者説明会	引き続き市内の魅力を再発見できるイベント等を実施(ロビーコンサート、なぞときイベント、イルミネーションを開催)	77
	2	守口市公募型協働事業提案制度の提案件数	10件	1件 (R1)	※第6次総計と同一指標 定義:守口市公募型協働事業提案制度において応募があった事業の数(採択数ではない) 出所:コミュニティ推進課調べ	1	4	40.0%	4件中1件辞退	コミュニティ推進課	3	守口市公募型協働事業提案制度の充実	・多くの市民から公募いただけるよう、要件の一部を緩和するなど、制度の更なる充実を図ります。 ・若い世代に制度を活用してもらうため、若い世代が親しみやすいSNSを積極的に利用し、周知します。 ・市内の大学等と連携し、学生にも本制度を活用し、より良い守口づくりに関わってもらえるよう取り組みます。	継続	コミュニティ推進課	市民協働推進事業	176,000	・令和元年度から提案区分に提案に要件のない「市民課題提言型」を設け、引き続き募集を行っている。 ・ホームページやFM/ハナコだけではなく、LINEやFacebook等SNSを活用し制度の周知を図った。	・引き続き、若い世代が親しみやすいLINEやFacebook等SNSを活用し制度の周知を図る。 ・市内の大学等と連携し、学生にも本制度の周知を行い、積極的に活用していただく。	78
											4	産官学の連携による守口の魅力再発見	・産官学連携によるフィールドワーク等を実施し、守口の魅力を再発見を行います。あわせて、成果を発表する場を提供し、その成果内容について、WEBや動画、アプリ等を活用して広く周知します。	新規	魅力創造発信課	シティプロモーション推進事業	-	守口市へ訪れるきっかけとなる観光ガイド「ことりっふ」の守口市版を制作。この制作にあたっては、連携している大学の学生等の意見を取り入れながら、新たなまちの魅力を発見し、発信するツールとなった。	産官学連携を活かし守口の魅力再発見となるよう引き続き取り組みを実施	79